

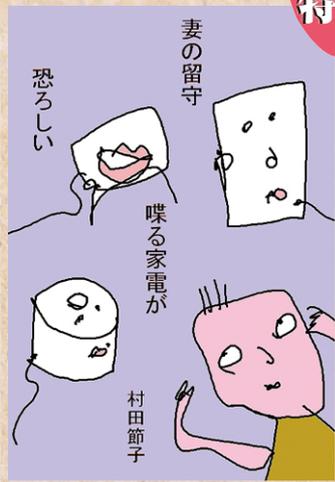
八木健の

# 川柳アート

選者・川柳アート  
八木健(月刊川柳総合誌)  
「川柳マガジン」三元選者

97

特選



妻の留守  
喋る家電が  
恐ろしい  
村田節子

妻の留守喋る家電が恐ろしい  
妻よりずっと優しい口調で喋る家電  
は、愚痴も言わない、食費も要らない。  
けれども、いつもおんなじセリフ……。

村田 節子(八幡浜市)



風起せ  
大型うちわで  
中国へ  
石原康正

風起せ大型うちわで中国へ  
効果を期待するなら、大きなうちわが  
必要となる。枚数も想像つかんね。とり  
あえず息を吐くだけにしよう。

石原 康正(松山市)

佳作



固定電話  
今じゃ携帯  
探す機器  
大野美智子

固定電話今じゃ携帯探す機器  
時代の変化とともに、果たす役割が  
変化するという事例の一つです。長  
生きは、年金もらうためとか。

大野美智子(松山市)



宇宙汚染  
やめろと隕石  
怒鳴り来る  
藤原白男

宇宙汚染やめると隕石怒鳴り来る  
おそろく、宇宙飛行士がウンコを  
窓外に捨てたんだらう。それから、黄  
色い雨の時は、特に要注意だべ。

藤原 白男(今治市)



マスクして  
アラが  
隠せる  
良い季節  
武井基次

マスクしてアラが隠せる良い季節  
四六時中、マスクしていたいのなら、  
看護師になりなさい。なぬ？ 隠し切  
れない？ 全部アラだからと？

武井 基次(松前町)



超おしゃれ  
記念写真に  
杖隠し  
河村嶺子

超おしゃれ記念写真に杖隠し  
川柳句集の奥付に掲載の顔写真は、  
二十年前の写真を使う。あの頃は、お  
洒落しなくても十分に奇麗でした。

河村 嶺子(四国中央市)



母という  
ナビに  
教わる  
進む道  
宮井園江

母というナビに教わる進む道  
子離れできない、親離れできない母  
子。人生の進路まで母にナビしてもら  
うのかい？ 母は死に切れないから、  
日本は長寿国に。宮井 園江(松山市)



ピカソめく孫の落書目を細め  
花山昇

ピカソめく孫の落書目を細め  
祖父自身の才能を考えなさい。鳥は  
鷹を産まない。蛙の子は蛙。爺ちゃん  
の眼鏡の度が合っていないことも考えら  
れますよ。

花山 昇(松山市)

## ひろば JUN.

絆

ミラクル・アイ  
(松山市・69歳)

高校卒業50周年の同級会  
でのこと。机を並べながら  
一言もしゃべった覚えのない  
S君が、図らずも声をか  
けてきた。その前日まで彼  
と友達になるとは夢にも思  
わなかったもので、びつくり  
するやらうれしいやら。互  
いに無表情の18歳は、歳  
月を越えて心優しい大人に  
なっていたのである。人生  
の宝物は、物でもお金でも  
なく、人の絆の温かさだと  
教えられた1日だった。

### 第二の人生

定年くん  
(西条市・61歳)

仕事一途に昼夜なく一生  
懸命働いて、やっとの思い  
で定年を迎える。喜びも一  
瞬、病発生で、葉漬けの  
毎日に落ち込み、うなだれ  
ていると、妻は一言「たま  
には笑ったらどうよ」。よ  
おし、負けてたまるかど奮  
い立ち、命のある限り頑張  
ろうと決心し、ウソ笑いで  
もと「チーズ、チーズ」と  
言ってみた。アクリートの  
「川柳アート」でほくそ笑  
み、「ひろば」の言葉にニ  
ヤけていると、妻は心配そ  
うに一言「どこがおかし  
くなったんじゃないの」。

### 孔雀のおかげ

ひまわり  
(松山市・57歳)

夫が入院している病院に  
は、なんと孔雀が飼育され  
ている。「何で孔雀？」と  
疑問に思っていたら、ある  
時、「孔雀は毒蛇を食べる  
ことから、人々の心の毒を  
取り除き、災いから身を  
守ってくれる」との記事を  
見つけ納得。他にもたくさ  
んの絵画、お花、細かな配  
慮があちらこちらに。患者  
でなくても心が安らぎ、温  
かくなってくる。その上、  
働いている人たちの笑顔が  
最高。心から感謝の日々で  
ある。

### お便り募集

○川柳  
テーマは自由。未発表のオリジナル作品  
に限ります。採用された作品には選者・八  
木健さんが切り絵やCGを使った「川柳ア  
ート」を作り、本誌に掲載の上、採用者に  
プレゼントします。

○ひろば  
エッセーなどを募集しています。テーマ  
は自由、200字以内。誌面の都合上、原稿  
を割愛、修正する場合があります。ご了承

ください。採用の方には、1,000円分の図書  
カードをお送りします。  
川柳とひろばのあて先は下記の通りです。  
住所、氏名、電話番号、性別、年齢をお書  
きください(ペンネームも可。必ず氏名を  
記入してください)。  
※ご応募いただいた個人情報、適切に取り扱います。

〒790-8511 松山市大手町1丁目12-1  
アクリート編集室 通信係  
Eメール accrete@enp-sc.jp